

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会（第114回）議事概要

1 日時 平成27年12月11日（金） 14時00分～15時10分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

伊東 晋（分科会長）、鈴木 陽一（分科会長代理）、  
相澤 彰子、相田 仁、石戸 奈々子、近藤 則子、  
三瓶 政一、知野 恵子、前田 香織（以上9名）

（2）専門委員（敬称略）

兩宮 不二雄、多氣 昌生（以上2名）

（3）総務省

（情報通信国際戦略局）

野崎 雅稔（技術政策課長）、

（総合通信基盤局）

福岡 徹（総合通信基盤局長）、渡辺 克也（電波部長）、  
佐々木 祐二（総務課長）、田原 康生（電波政策課長）、  
新田 隆夫（国際周波数政策室長）、寺沢 孝二（基幹通信課長）、  
臼井 文良（基幹通信課課長補佐）、杉野 勲（電波環境課長）、  
澤邊 正彦（電波利用環境専門官）

（4）事務局

中村 伸之（情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長）

4 議 題

（1）答申事項

「国際無線障害特別委員会（CISPR）の諸規格について」のうち「マルチメディア機器の電磁両立性 –エミッション要求事項–」について

【昭和63年9月26日付け電気通信技術審議会諮問第3号】

【内容】

本件は、マルチメディア機器からの妨害波の許容値及び測定法を規定しているCISPR32について、最新の国際規格に準拠しようとするもの。

審議の結果、電波利用環境委員会から報告があったとおり、許容値及び測定法について了承し、一部答申することとした。

## (2) 報告事項

- ① 国際電気通信連合（ITU）2015年世界無線通信会議（WRC-15）の結果について

### 【内容】

本件は、本年11月にスイス・ジュネーブで開催されたITUの世界無線通信会議（WRC-15）の結果として、総務省より報告があったもの。

具体的には、携帯電話用の周波数帯の追加特定や自動運転の実用化を加速する自動車用レーダーへの周波数分配などの重要な審議結果について、また、2019年開催予定の次回WRCにおいて、我が国が2020年頃の実用化を目指している第5世代移動通信システム（5G）で使用する周波数帯について議論していくことなどが報告された。

- ② 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「5GHz帯無線LANの使用周波数帯拡張等に係る技術的条件」の検討開始について

【平成14年9月30日付け諮問第2009号】

### 【内容】

本件は、無線LANについて、近年のトラヒック増加への対応やオリンピック等の多くの人が集まる状況でもつながりやすくするため、海外の状況も踏まえながら、現在屋内限定の周波数帯における屋外利用や追加割当て等を含めた技術的条件の検討を開始したことについて、陸上無線通信委員会より報告があったもの。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 加藤、水本

電話：03-5253-5957

FAX：03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。